

MEIJI MURA

明治村だより
2022 Autumn
108



明治村みらい基金

随時募集中

私たちの未来を豊かにする「明治」の価値
一緒に残し、伝えていきたいと思います



博物館明治村 協賛会員 募集案内

博物館明治村では、歴史的建造物の修繕や展示など村内整備の充実を図るため広く皆様のご支援を募っています。

1. 法人会員の種類と会費 (各1口あたり、消費税込)

- 一般会員 10万円
- ゴールド会員 100万円

2. 会費の使途

明治村で展示・保存されている建造物の修繕や、村内の整備など公益目的事業費に充てさせていただきます。

3. 会員期間

- 入会日より1年間
(入会月の翌年当月末日まで)

4. 会員の特典

- 会員証 (記名式) の発行
- 招待券の贈呈
- 刊行物等の贈呈
- 芳名の掲示
- 法人名の銘板付きベンチの設置
(ゴールド会員のみ)

5. 問い合わせ先

公益財団法人明治村 協賛担当
住所: 〒484-0000
愛知県犬山市字内山1番地
TEL: 0568-67-0314
E-mail: meiji-info@nrr.meitetsu.co.jp

協賛会員 (令和4年9月1日現在)

敬称略:五十音順

ゴールド会員

大成建設株式会社

矢作建設工業株式会社

一般会員

アイカ工業株式会社

株式会社安藤・間

因幡電機産業株式会社

株式会社NTTファシリティーズ

小原建設株式会社

キリンビバレッジ株式会社

五洋建設株式会社

サントリーコーポレートビジネス株式会社

株式会社新高土木

大興建設株式会社

株式会社丹青社

東京海上日動火災保険株式会社

名古屋トヨペット株式会社

株式会社長谷工コーポレーション

株式会社不動テトラ

三井住友海上火災保険株式会社

三菱電機株式会社

名鉄エアパートナース株式会社

アサヒ飲料株式会社

株式会社磯部組

株式会社魚津社寺工務店

株式会社大林組

鹿島建設株式会社

株式会社熊谷組

株式会社ザイマックス

株式会社シーイーテック

株式会社スペース

大成ユーレック株式会社

中京テレビ放送株式会社

株式会社東芝

西日本電信電話株式会社

株式会社日立製作所

ホーチキ株式会社

三井不動産株式会社

三菱ふそうトラック・バス株式会社

株式会社森本組

アサヒビール株式会社

株式会社伊藤園

株式会社エイムクリエイツ

岡谷鋼機株式会社

株式会社関電工

株式会社鴻池組

サッポロビール株式会社

柴山コンサルタント株式会社

株式会社扇港電機

株式会社竹中工務店

スターツ東海株式会社

東洋電機製造株式会社

西松建設株式会社

株式会社ファミリーマート

ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社

三井不動産ビルマネジメント株式会社

名高土木株式会社

株式会社ヤシマキザイ

厚見建設工業株式会社

伊藤商事株式会社

株式会社NTTドコモ

株式会社オノコム

キリンビール株式会社

コクヨマーケティング株式会社

佐藤工業株式会社

清水建設株式会社

ダイキン工業株式会社

株式会社谷澤総合鑑定所

鉄建建設株式会社

戸田建設株式会社

能美防災株式会社

株式会社フジタ

前田建設工業株式会社

三菱商事株式会社

名鉄EIエンジニア株式会社

若松物産株式会社

CONTENTS

明治村の建築に視る日本近代青春群像物語【八】

東松家住宅 市中の立体露地(その二) … 02

宇治山田郵便局舎 保存修理工事が完成を迎えます … 04

秋の催しもの … 09 明治村写真コンテスト紙上展覧会 … 10

表紙について

『芍薬の歌』泉鏡花著、春陽堂、大正8(1919)年より

『龍峰集』泉鏡花著、春陽堂、大正12年より

「明治村だより」第108号(令和4年秋号) 令和4年10月24日発行

発行 博物館明治村 〒484-0000 愛知県犬山市字内山1番地 電話 (0568)67-0314 <https://www.meijimura.com>

製作 大日本印刷株式会社

「明治村だより」
第109号発行のお知らせ

発行日については、明治村公式ホームページでご案内いたします。

申込方法 「明治村だより」第109号ご希望の旨、およびご住所・お名前を明記の上、送料(含発送手数料)140円とともに現金書留にてお申込みください。

東松家住宅

市中の立体露地

(その二)

館長 中川武

二階原叟床の三畳半茶室と三階最深奥の都市の望楼

前篇「旧東松家住宅―市中の立体露地(その一)」において、二階、三階への増築過程を、既刊の各種報告書の再検討によって明らかにできたと考えるが、本篇では、それがどのような目的で行われ、結果的にどのような住居を実現したものであったかを明らかにしたい。

東松家は幕末期から油問屋を営み、明治二十八年に堀川貯蓄銀行を興したと伝わるが、三階茶室廊下の杉戸絵に残る明治三十四年の落款から三階は明治三十四年で間違いない。しかし棟札の明治三十四年は、はたして二階も含めたものなのか。明治二十八年から

三十四年の間にまず二階部分が増築され、少し間をおいて三階部分が本格的に増築され、それが棟札に記録されているとも考えられるからである。二階も三階も床高の段差と柱間寸法等が複雑に絡み合い、結果している空間構成からは写真1、一気に二、三階の全部を建造したのではなく、まず二階をつくり、継ぎ足すように三階を増築したためとも考えられる。当初の油問屋の時代は、表から奥行二間がミセ、その奥の二間半と奥の通り庭の間にも間仕切りの引き違い板戸が入っており、長五畳と仏間、奥の八畳座敷の境が、ミセと家族の居住空間を区別していた(写真1)。裏の大戸の表面には〇・五ミリの鉄板がビス止めされているものが残されているが、これはいつの時代のものかは分からない。表の大戸は当初からものと考えてよいだろう。奥行八間の通り庭型町家空間が裏庭、水廻り、土蔵を併設して

自足していたと考えることは可能であろう。二、三階への増築の契機は、貯蓄銀行の開始であったことは間違いないであろう。ただしそれが、まず二階だけにとどまり、その後六年以内に三階が増築されたことの決定的証拠は見い出せない。したがって、各部屋の性格とそれらの全体としての使い方により建物の変遷、増築の過程を推測するしかないように思われる。

二階には特徴的な三畳半に板床という表千家六代寛々斎原叟の考案になる茶室がある(写真2)。北側奥の床、棚付の十畳は広間の茶室としても使える。欄間や襖の引手の飾り金具も数寄屋として見ごたえのある意匠である。

原叟床茶室への席入りのアプローチは、表から通り庭を一度裏庭に出て、奥八畳の縁側の西北隅の階段を昇り、二畳中板の小間から、通り庭の上吹き抜けに張り出しながら、四十五度に折れた渡り廊下へ出る(写真3)。これは下部を無双、中間を連子障子窓、上部を吹き放し欄間(写真4、5)とし、通り庭に組み込まれた山里の露地を架構している。この廊下は三畳半茶室前の三畳に続いており(写真6)、この小間は寄付とされることもあるが、私は三畳半茶室の前室とすべきであって、三畳に隣接した六畳が寄付として使われたと考える。というのはこの六畳西南の半畳分が板畳として斜めに隔切されている(写真7)。ここに割竹の棧の半月形の下地窓がこしらえてあり、吹き



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5

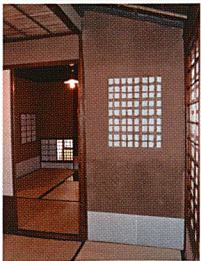


写真6

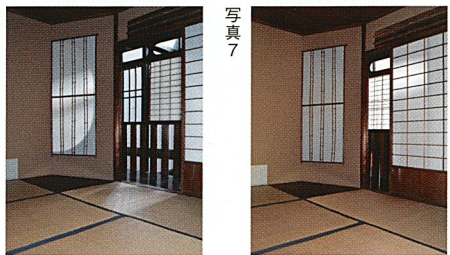


写真7

抜け露地から光が入り、下地窓が巧みな演出をみせる。三畳への襖が開き、月の出の景色となる(写真8)。つまり席入りと待合いを劇的な空間演出で表現しており、原叟床茶室へのアプローチに強いスポットライトを当てることにより

入口になる。三階南側四畳と十畳の部屋境の欄間と、十畳の床回りの意匠に裏千家十一代玄々斎考案の咄々斎の造りを取り入れていることが注目される。東側の板の間へ戻り、四段の階段を昇ると床棚付の八畳がある(写真9)。ここからは西側の吹き抜けに面して小さなバルコニー状に濡れ縁が出ており(写真10)、通り庭を露地と見立てていることがよくわかる。階段をさらに四段昇ると、最も高く、最奥の六畳へと続く。この部屋へはトチの一枚板の廊下から入るが、東を大きな丸窓とし(写真11)、曲がり床柱の小さな板床、西側に懸戸の障子窓と洞庫状の戸棚があり、右は水屋、左は床が揚

げ板になっており、水桶などを台所から吊り上げることができた。この部屋と八畳の座敷との間には段差があるが、色紙下地窓が開けられている。このようにここは茶室としても使えるが、かつて丸窓からは名古屋城が見え、北側の高窓からは伊吹山が望まれたという。東松家の人々の人となりは、残念ながらも一つ詳らかではない。しかし残された増築の経緯と部屋構成から、想像を逞しくすれば、油を売る茶室から銀行業に進出した家族一同の緊張はそれなりに厳しいものがあつただろうと思われる。元々茶の湯に傾倒していたのであるが、両千家への憧れに似た表明を見ると、都市と家業の圧迫から一時解放されて、茶の湯の慰楽を求める気持ちが強くなったとしても不思議はない。しかし、東松家の裏庭はそれほど余裕がなかったため、市中の山居という茶の湯思想の根幹を実現するために、通り庭の立体化と増築の制限のために複雑な平面と断面構成を工夫せざるを得なかった。そのことが逆に東松家住宅の多様で、豊かな空間構成の創造に繋がったのではなかったか。通り庭を三階分の吹き抜けとし、立体露地という稀にみる高密度な空間が現出したといえよう。しかしこの高密度はまた一方ではある意味での空間的な圧迫感を受けることは免れない。最奥部の六畳は茶室としても使われるが、もっと自由な遊びの部屋でもあつただろう。広大な都市の眺望を通して、居室を宙天へと拡大して棲むことを望んでいたのかも

しれない。

一階ミセ裏には二階へ至る階段がある。これは九三三ミリという一般的な半間巾よりかなり巾広い一〇七五ミリの階段(下四段が抽出し式の箱階段)が設けられているが、痕跡より明らかに平屋からの改築を示している。二階の表側の四畳、六畳、四畳の三室は天井高も低く、大津壁という家族の日常居室、特に西側の四畳は通り庭から梯子で出入りする女中室であった。他の居室が皮付丸太、聚楽壁という数寄屋造風の仕様になっていることと比べると明快な対比である。即ち、この中広の階段が二階のためだけに用意されたと考えると少し無理があるように考えられる。階段そのものに改築の痕跡がないので、二、三階は一度に増築されたと推考される。

二階東南隅の半間の板間は南側居室の入口であるが、それに続く階段は唯一の三階への

二階東南隅の半間の板間は南側居室の入口であるが、それに続く階段は唯一の三階への

二階東南隅の半間の板間は南側居室の入口であるが、それに続く階段は唯一の三階への

宙天の立体露地に市中の山居を

二階東南隅の半間の板間は南側居室の入口であるが、それに続く階段は唯一の三階への

図1 東松家住宅・平面図 (図面出典・全て「重要文化財(建造物)旧東松家住宅保存修理工事報告書」)

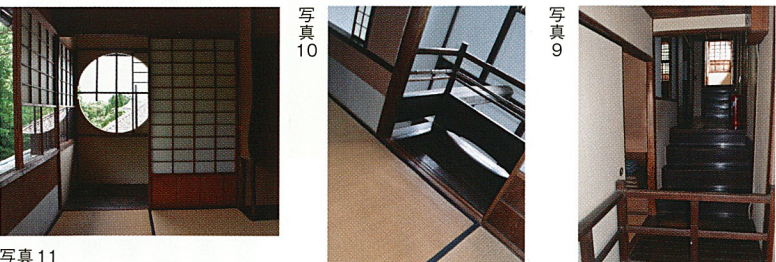
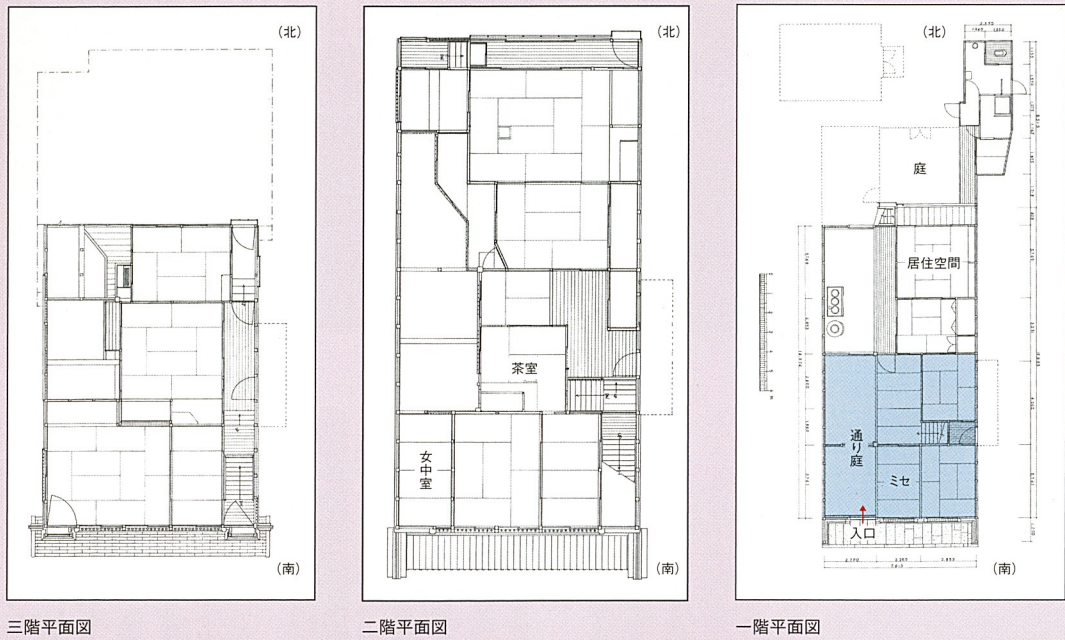


写真8



写真9



写真10



写真11



宇治山田郵便局舎

保存修理工事が完成を迎えます

4丁目46番地に建つ重要文化財宇治山田郵便局舎は、令和元年(2019)2月より進めていた耐震補強を含む保存修理工事を終えて、常設展示も新たにリニューアルオープンいたします。

の葺替え及び軒樋の全面取り替え、雨水の浸入により腐朽していた野地板等の木部補修、内外壁塗装の塗り直しとしました。また、切手倉庫と呼ばれる一室は、修理工事前の調査により判明した事項を基に、移築前の構造躯体であった煉瓦積へ復原することとしました。

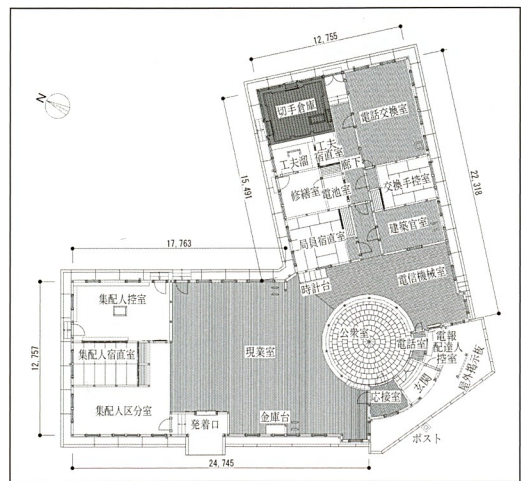
一、建物の概要

宇治山田郵便局舎は、正面の円筒形の中央ドームを中心に、旧敷地の形状に合わせたやや鋭角のV字型に東西塔屋及び翼部が連なる平面構成をしています。中央ドームにある玄関を入ると、円形に窓口や私書箱が並ぶ公衆室となります。公衆室は、十本の通し柱によって天井が高く造られており、天井廻りの採光窓から光が降り注ぐ明るい空間に設計されています。移築前の宇治山田郵便局舎では、この公衆室と南に隣接する玄関、応接室、電話室は、一般客が利用する空間となっていました。

西翼部は、主に郵便局機能を置くエリアでした。西翼部西面に郵便物の発着口があり、南側に主要な業務空間である現業室、北側に集配人区分室や集配人控室、宿直室が置かれています。東翼部は、西側に電信機械室を



写真1 移築前写真(大正4年)



図面1 平面図

宇

治山田郵便局舎は、明治四十二年(一九〇九)に三重県伊勢市にある伊勢神宮外宮前の角地に建てられた、木造平屋建ての郵便局舎です。通信省の技手であった白石圓治により設計された建物で、建築時の工事監督は、同じく同省技手の石渡喜三郎でした。昭和四十四年(一九六九)に、局舎の移転新築に伴い博物館明治村へ移築されました。建物は、明治村で唯一外部団体(日本郵政株式会社(旧郵政省))所有の展示建造物です。

移築から五十年を目前とした建物は、経年による銅板屋根の劣化や樋の破損等が生じ、雨漏り被害が深刻となっていました。また、

を戴く中央ドーム、同じくフィニアルを戴く小ドームの屋根をタンブラーが受け、渦巻き型のヴォリユートが取り付く東西塔屋及び寄棟造の東西翼部から成る複雑な構造をしています。

二、修理のポイント

前述のように修理工事は、耐震補強を伴う屋根葺き替えと内外壁塗装の塗り直し含む部分修理工事を行う方針としました。ここでは、特に注目していただきたい修理のポイントを厳選してご紹介します。

① 耐震補強

大規模な保存修理を行う際に、まず初めに検討しなければならない事項として、耐震診断が挙げられます。宇治山田郵便局舎では、前述のように修理工事に耐震診断を行い、診断の結果、建物に構造補強が必要と判断されました。

傷めなければなりません。古材を傷める範囲を最小限に留めるために、補強材の工法や納まりについて入念に検討し、補強材を取り付ける際に支障となる部分の確認や、解体範囲の選定等、慎重に協議を重ねました。

修理に際して取り入れた主な耐震補強は、①壁耐力を上げるための耐力壁の挿入、②引抜力に抵抗するための接合部の金物補強、③軸部や小屋組の水平補強です。①では、壁内に構造用合板を真壁形式で設置し、耐力壁としました。②では、柱脚部及び柱頭の金物補強等を行いました。③では、軒レベルの水平剛性の向上のため火打ち材などを追加し、小屋組トラスの接合部に補強金物と雲筋違い等を取り付けました。新たに製作した補強金物は、一つ一つ設置する場所に合うように寸法を検討し、加工したものを取り付けています。

耐震補強を考える上で特に考慮したのは、室内空間や外観に影響を及ぼさないようにするという点です。見学者に建物本来持つ空間の力を伝えるため、耐震補強のための金物や部材を極力隠蔽部へ取り付けるよう検討を重ねました。

① 耐震補強



写真2 小屋組補強状況



写真3 電信機械室の耐力壁

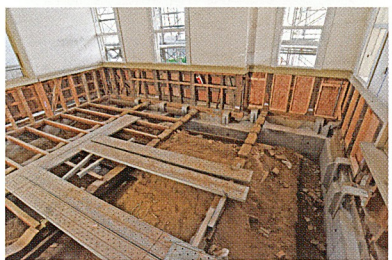


写真4 電信機械室の補強金物取り付け状況

② 屋根銅板の葺き替え

銅板屋根の葺き替え周期は、七十年前後と言われていますが、複雑な屋根の形状は、雨仕舞の点で有利には働きません。前述の通り、宇治山田郵便局舎では、経年劣化により銅板に切れや変形が発生し、雨漏りが頻発していました。また、塔屋上部の装飾である筒状のタンブラーや渦巻き状のヴォリユートの板金包みは、小ドームの葺き材と異なる金属が用いられていたこと等から電食によって穴が空き、下地材の腐朽や雨漏りを誘発していました。電食を防ぐために、東西塔屋のタンブラー、ヴォリユートの材料を、修理前の亜鉛引き鉄板から、屋根葺き材と同じ銅板へ変更しました。屋根形状の複雑さから納まりが難しい谷樋は、雨仕舞を入念に検討し、改良を施しました。

今回、屋根の銅板を全面的に葺き替えるにあたり、硫化処理を施して表面を酸化させ化学変色させた「硫化銅板」を使用しました。この処理により、数十年かけてより自然な緑青の姿に近づいていくことが期待されます。硫化銅板は黒褐色と茶褐色の二種類あります。

② 屋根銅板の葺き替え



写真5 中央ドーム屋根下地

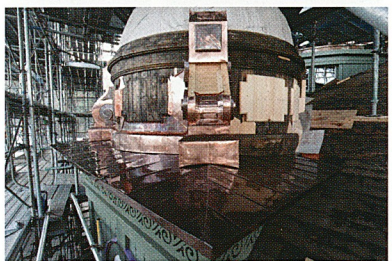


写真6 塔屋銅板包みの復旧

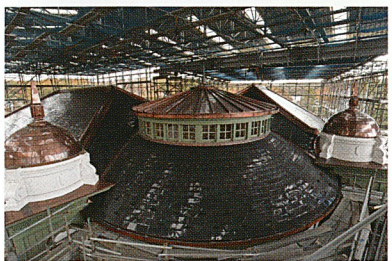


写真7 硫化処理を施した屋根銅板

移築前に天然スレートで葺かれていた範囲を黒褐色、中央ドーム、東西に建つ塔屋小ドームの屋根や翼部の棟包みなど、移築前から板金であった部分を茶褐色として使い分けました。このように、当初の素材の違いがもたらす外観の印象に少しでも近づけるよう配慮しました。

③ 木部修理

木材の腐朽は、腐朽菌の繁殖が原因といわれていますが、その要因は湿気による結露やカビ、シロアリ等さまざまです。宇治山田郵便局舎で行った主な木部修理は、雨漏りが発生していた①屋根の下地材である野地板や小屋組及び②東西塔屋の小ドームとタンブラー、ヴォリユートの木下地、③経年による反りが著しかった床組、④常に風雨に晒されている外壁等多岐にわたりました。

文化財建造物の保存修理の特徴は、なるべく古材を守ることに重きを置くことです。例えば、部分的に腐朽が見られる材料でも、丸々一本を取り替えるのではなく、継木や矧木といった手法により、全取り替えにならないよ

③ 木部修理



写真8 野地板の補修

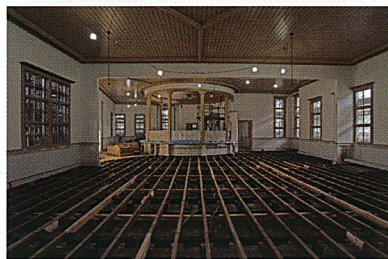


写真9 現業室床の補修



写真10 ヴォリュートの補修

うに補修範囲を決定していきます。修理によって補足した材料は、修理年度を刻印し、創建以後の時代の取り替え材であることが一目でわかるようにしています。

今回修理を行った②のタンブラー、ヴォリュートの木下地の繻いでは、ノミやカンナを利用して渦巻状のカーブの加工等、一パーツごとに補修範囲に合わせた部材を新たに製作しています。伝統技法を熟知した職人による、丁寧な手仕事求められる工事です。

④ 塗装修理

修理前の宇治山田郵便局舎をこ存じの方は、竣工した建物の外観をご覧になって、なぜ緑色なのかと気になる方がいらつしやるのではないのでしょうか。

修理前の外壁の塗装は、紫外線劣化等により、青色の顔料が退色し、黄色の顔料が残留している状態でした。今回の塗装の全面塗り直しでは、外壁小壁の堅嵌板等に塗り重ねられていた塗膜を、擦り出し調査により確認し、判明した最下層の仕上げ色に基づき色を決定しています。そのため、修理前の色調や、移築の際の色調と異なる色味となっています。

⑤ 煉瓦積による切手倉庫復原

切手倉庫は、お金と同等の価値を持つ切手を保管するための言わば「金庫」としての役割を担っていました。木造の建物の中に煉瓦積の内壁を造る二重構造の壁や、鉄製防火シャッター及び鉄製防火戸等の設備、波板鉄板張りの天井の上に砂を敷き込む構造により、耐火、防火、防犯に配慮した厳重な造りをしていることが大きな特徴です。

移築前の切手倉庫の内壁は煉瓦積で建てられていましたが、明治村への移築の際にコンクリートブロック積に改変されていました。移築前の煉瓦積の様子が分かる古写真や保管されていた煉瓦をもとに調査を進めたところ、内部空間の形態や寸法体系は創建時から踏襲されていることが判明しました。

修理前に行った耐震診断により、修理前の補強コンクリートブロック積の壁体は、耐震性能の評価が困難であることがわかりました。そして、コンクリートブロック積に補強を加えたとしても、有事の際に木造躯体に及

ぼす影響を解決できないこと等の課題がありました。そのため、文化的価値向上が見込まれ、耐震対策を施すことができる、切手倉庫を創建当初の構造に復する現状変更を行いました。現状変更とは、文化財指定された建物において、修理前の現状から修理時の調査で判明した事実や保存管理上、活用のために変更を加える際に必要となる行政手続きです。

復原設計した煉瓦積の切手倉庫は、壁厚が煉瓦一枚半の厚さとなる薄い構造体であり、この構造体に耐震性を確保することが求められました。具体的に耐震性を確保させるためには、煉瓦壁内にPC鋼棒と鉄筋を多数挿入する必要があります。このため復原に使用する煉瓦は、特別に設計注文した穴あき煉瓦としました。

古写真に写る煉瓦積の分析

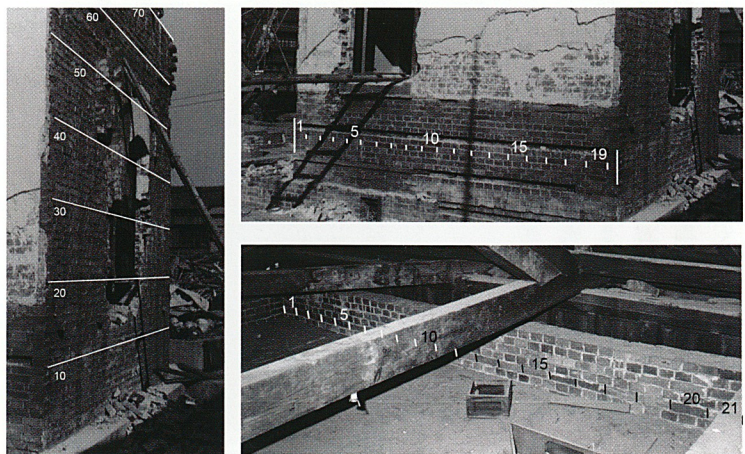


写真16 煉瓦積施工状況



写真17 切手倉庫復原

常設展示リニューアル——つながるひとこころもの

数段階み上げること、寸法精度を確認する必要があり、寸法の確認後、PC鋼棒と鉄筋を垂直方向に繋ぎ合わせて、繰り返し上部から煉瓦を落とし込みつつ煉瓦壁面を構成していきます。

一方、建物本体の木造躯体と復原した煉瓦壁体とのクリアランスは10ミリ以下と厳しい施工精度が求められ、小規模な構造でありながらも、手間と苦勞を多く要した工事となりました。

三、おわりに

以上、修理工事の五つのポイントについてご紹介いたしました。切手倉庫の復原を含む本修理工事では、共同事業者である日本郵政株式会社様の熱意と技術的な挑戦、多大なご支援があり、無事竣工を迎えることができました。

明治期に和小屋から洋小屋へ、小屋組の進化により広がった内部空間や意匠性のある屋根形状など、建物の魅力的なポイントはたくさんあります。まずは、竣工した宇治山田郵便局舎をご覧いただき、その雰囲気を感じていただければと思います。また、引き続き局舎内では明治村独自の取り組みである「はあとふるレター」や、簡易郵便局業務を行いますので、建物内部の空間を感じつつ手紙を認めてみてはいかがでしょうか。過去と現在をつなぎ、人と人をつなぐ建物として、宇治山田郵便局舎がこれからも愛されていくことを心から願っています。



絵葉書 宇治山田 御幸通 個人蔵

建

物の修理工事竣工に合わせて、常設展示をリニューアルいたします。展示のテーマは「つながるひとこころもの」。

明治四（一八七二）年に創業した郵便制度によって、手紙や荷物を江戸時代の飛脚に比べて、安価に早く相手に届けることができるようになりました。その拠点となる郵便局の数も多く、まさに人々の身近に寄り添い、送り主と受取先の「ひと」に、送り主が込めた「こころ」を伝え、小包として送られる「もの」にも心を込め、且つ「もの」の流通範囲が広がることで日本の近代化にも貢献してきました。

今回の展示では郵便の歴史をそれぞれの時代を象徴となるポストで、また建物があった伊勢地域の当時の様子を紹介します。

見学者の皆様が宇治山田郵便局舎の中で、昔も今も変わらず「ひとこころもの」をつなぐ郵便へ想いを馳せ、大切な人へ一筆したためていただく場となることを希望します。

この誌面では、日本の近代郵便制度の流れについてご紹介いたします。



白石持神事（『風俗画報 421号』 1911年）

◎ はじめに

日本で郵便制度の創設を唱えたのは「前島密」です。

前島は、明治三年（一八七〇）に新式郵便の創設を建議しました。彼は「治国の要は通信の快速四速に在り」との信条より、郵便を単に手紙を運ぶ事業と考えていたのではなく、政治や経済、社会の発展に寄与するインフラとして日本の近代的な国家づくりに貢献するものと考えていたからです。

◎ 運ぶのは「情報」です

前島の建議の翌年、明治四年に開始された郵便制度は、それまで通信を担ってきた飛脚とは異なり、①ポストに投函する、②切手

新橋 横濱
鉄道開業150th in Meiji-Mura

1872年10月14日(明治5年9月12日)に日本初の鉄道が新橋・横浜間に開業してから今年で150年を迎えることを記念して実施します。

鉄道開業当時の乗車券(硬券)をモチーフとした記念乗車券を販売するほか、SL東京駅・SL名古屋駅の各ホームに設置の駅名看板を「新橋」および、「横浜」に変更します。



期間 ~12/18(日) ※連休を除く
乗車券販売・枚数 SL東京駅・SL名古屋駅にて各5,000枚(片道券500円 ※1)
 ※記念乗車券は大人料金のみ設定となります。 ※平日は車掌が販売します。
 ※なくなり次第終了します。 ※蒸気機関車は連休日がございます。

事前予約制で開催!(お申込みは明治村公式HPから)

どうやって京都市電は走るの?
 整備の際にしか開けない床下のモーターなどを見て頂きながら、京都市電の動く仕組みを日頃運転や整備に携わるスタッフが詳しく説明します。

SL車掌体験
 連結旗振り作業や出発合図など、蒸気機関車の車掌のお仕事を体験しよう。



開催日 10/29(土) **開催日** 10/23(日)・11/13(日)
対象 小・中学生 (小学校3年生以下の方は要保護者) **対象** 小・中学生 (小学校3年生以下の方は要保護者)
参加料 1,000円 (京都市電1乗車料金込み) **参加料** 1,000円 (SL片道料金込み)

明治村写真コンテスト入賞作品展

期間 ~12/18(日)
会場 東山梨郡役所2階

ジプリの想い 明治村の想い その先にあるもの

開催日時 2022年11月26日(土) 13時~
出演者 安西香月(三鷹の森ジプリ美術館 館長)
 阿川佐和子(博物館明治村 村長)
 中川 武(博物館明治村 館長)

締切 2022年11月4日(金)17:00到着分まで
 ※お申し込み方法は明治村HPをご覧ください。
 ※応募者多数の場合は抽選となります。

「燈台記念日」品川燈台特別公開

通常非公開の燈台内部を特別公開。会場では、海上保安庁マスコットキャラクター「うみまる」が皆様をお迎えいたします。

期間 10/28(金)~30(日)
時間 10:00~15:00

協力/第四管区海上保安本部、(公社)燈台会、(公財)海上保安協会東海地方本部

きもので歩く明治村 11/12(土)~12/11(日)

趣ある秋の明治村をきもので散策して自分だけの写真を撮ろう!



犬山日和コラボ企画 / きもので明治村を楽しもう!
 期間中、きものでご来村の方は **入村料半額!**
 ※浴衣・甚平・作務衣は対象外です。

女性限定 **きもの着付け体験** ※雨天中止
開催日 11/12(土)・13(日) **受付時間** 10:00~16:30
会場 三重県庁舎 **料金** 1,000円(60分)~

事前予約制 **きものレンタルと明治村入村券のお得なセット!**
 お気に入りのきものを着て、趣いっばいの明治村を散策しよう!
期間 11/12(土)~12/11(日) **料金** 4,300円 ※大人のみ設定
 (明治村入村料、きものレンタル・着付け料込み) (男性用もご用意しております)
 4名様以上同時にご利用いただくことにお得!

「きものレンタルと明治村入村券のお得なセット!」のご予約・お問合せ
 着物&浴衣レンタル 犬山日和(犬山市犬山東古券195)
 TEL:0568-61-2532 ※明治村でのお取り扱いはございません。

●人々と郵便との出会い
 いちはやく郵便のネットワークを全国へ広げるためには、人々への周知が重要と考えられました。ハイカラな集配人の制服や立派な



東京郵便電信局便受付の様子『風俗画報 198号』

郵便局舎は目を惹き、郵便が「新時代を象徴する」制度であることを人びとに印象づけました。それは実際に錦絵などに郵便局舎や郵便柱箱(ポスト)、集配人の姿が名所や名物として描かれていることからもわかります。
 目を惹いたのは建物やポストだけでなく、時計もその一つでした。明治五年十一月に改暦が発表され、翌月に太陽暦が採用され、明治七年に各地の郵便局へ輸入品の八角時計が配

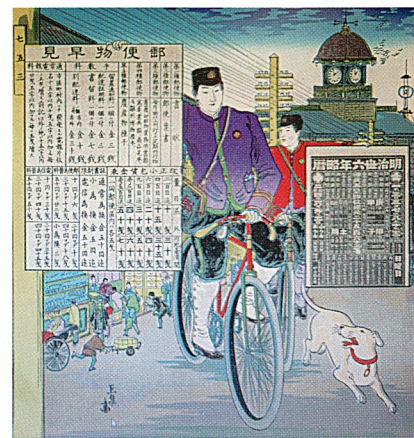
●運ぶのは情です
 戦後は、物価高騰・人件費上昇などで郵便事業は赤字が続きましたが、年賀はがきや記念切手の販売により収入は向上し、切手収集の愛好家も増えていきます。

●広がる手紙の可能性
 日清戦争に勝利し、明治三十年代に入ると日本の近代化は一層加速します。郵便においても法整備が進み郵便線路が拡張され、郵便量も増加してきます。明治三十三年に郵便法が制定され、私製葉書が許可されると絵葉書・年賀状ブームが起きます。美麗な絵葉書が業者間で競って出版されるようになり、雑誌の付録の絵葉書を目当てに雑誌の購読者が増加します。さらに絵葉書ブームは印刷技術の向上や水彩画の流行等にも火をつけることになりました。また日露戦争の戦況を伝える絵葉書も発行され、絵葉書は報道写真としての役割も担いました。

さらに大正十二年の関東大震災時には、被災者へ向け、切手不要の「罹災通信」や無料電報を提供し、被災者や遠く離れて住むその家族に多くの「安心」を伝えました。
 また、この時期には言文一致運動の影響から手紙にも言文一致体を使う風潮が生まれ、さまざまな雑誌や教本で特集が組まれるようになります。



東京名所四十八景 京はし 昇斎一景 1871年



引札

局内の作業の機械化も本格的に始動し、郵便番号制が導入されるなど、効率化が図られていきました。
 現代においては通信手段やコミュニケーションツールは時代とともに多様化し、手紙が主役だった時代は終わりを迎えます。しかし、手紙は情報以上の価値、差出人の個性、人間性を表現し、気持ちを相手に伝える最適な媒体としてあり続けています。
 宇治山田郵便局舎が建った頃の、伊勢の街の様子については別の機会にご紹介したいと思います。

明治村写真コンテスト 紙上展覧会

令和3年7月から令和4年6月までにご応募いただいた明治村写真コンテスト「明治村百景」の受賞作品の一部をご紹介します。四季折々に姿を変える明治村の風景をとらえた作品や、明治村ならではの催し物、歴史的建造物を斬新な視点で切り取った作品をぜひご覧ください。

入賞者一覧		
賞名	タイトル	撮影者
明治のある風景賞 入選	藤棚の奥にたたずむ	渡邊 道雄
フェスティバル賞 入選	3周年記念公演	山口 真夕
鉄ショット賞 入選	発車オーライ	武山富久夫
季節のうつろい賞 入選	ある雪の日	大野 常文
坂の上の雲ミュージアム賞	市電、京都七条で乗る。	伊藤 廣二
	名古屋駅行き最終電車	柴田 光弘
	陽を感じて	西山 心都
	旅立ち	谷中亜紀子
ハクバ写真産業賞	ふわふわ満開!!	三須 美樹
	シアトル、秋の彩り	上野 仁
審査員特別賞	秋晴れ	新田 博之
	寒い朝	竹岡 正行
	光射す	沖林富士夫
	終焉	掛布 巳幸
	青紅葉と黒猫	東丸ほのか
	初夏の北里研究所	宮本 奈々
	外は雨	佐藤 香代
	雨上がり	村松 真希
	宵の明治村	青山 美紀
	冬の陽	廣瀬美笑子
青	瀬谷 政樹	



特賞
「迎春」
梶原 臣和
明治のある風景賞



特賞
「盆の宵」
服部 哲治
フェスティバル賞



特賞
「秋映える京都市電」
西村 修
鉄ショット賞



特賞
「夏の終りのハーモニー」
鈴鹿 香
季節のうつろい賞

明治村写真コンテスト「明治村百景」募集要項

【応募期間】2022/7/1～2023/6/30

- テーマ 明治村を表す作品
明治村の四季折々の美しさや賑わい、明治村を楽しむ人々の心温まる風景やイベントの様子
- 締切 2023/6/30 (必着)
- 審査 明治村で選考した委員
- 発表 2023年8月末までに本人宛に通知
- 表彰式・作品展 2023年秋を予定
- 主催 博物館 明治村
- 協賛 坂の上の雲ミュージアム(松山市)、ハクバ写真産業株式会社
- 応募及び問い合わせ先 〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地 博物館明治村 写真コンテスト係
電話 0568-67-0314 FAX 0568-67-0358
- 賞
 明治村大賞……………1点 賞金10万円・賞状・記念品
 村長賞……………1点 賞金3万円・賞状・記念品
 明治のある風景賞……………2点 賞金・賞状・記念品
 建物や村内の風景をおさめた写真が対象(特賞1点:賞金2万円 入賞1点:賞金1万円)
 鉄ショット賞……………2点 賞金・賞状・記念品
 SLや京都市電など乗り物の写真が対象(特賞1点:賞金2万円 入賞1点:賞金1万円)
 フェスティバル賞……………2点 賞金・賞状・記念品
 村内で開催されたイベントの写真が対象(特賞1点:賞金2万円 入賞1点:賞金1万円)
 季節のうつろい賞……………2点 賞金・賞状・記念品
 季節を感じられる写真が対象(特賞1点:賞金2万円 入賞1点:賞金1万円)
 坂の上の雲ミュージアム賞……………5点 賞状・記念品
 ハクバ写真産業賞……………2点 賞状・記念品
 審査員特別賞……………10点 賞状・記念品

合計 27点

※賞や賞品等について、予告なく変更する場合があります。



明治村大賞
「ファンタジー」ニ村 研次



村長賞
「桜花爛漫」中世古 里名



令和4年12月18日(日)まで
東山梨郡役所2階にて
入賞作品展開催中

(敬称略)